



母性・乳児・幼児等の健康の増進

- 子どもや母親の健診を行うとともに、食育の推進などに取り組み、からだところの発育を支援していきます。
- ・健康相談、サロンの充実
 - ・食育と子どもの心のケア
 - ・ITを活用した子育てや思春期の相談などへの取り組み
 - ・小児医療の充実

子育てを支援する生活環境の整備

- 安心して子育てできるよう居住環境の提供を行っていくとともに、道路や公園などの整備を進めていきます。
- ・ユニバーサルデザインの導入による安心して外出できる環境づくり
 - ・公園や図書館、児童館の充実
 - ・若い世帯の住みやすい環境づくり

子どもの安全の確保

- 子どもの交通安全や犯罪を防止するため、あいさつ運動の推進など地域で子どもの顔が見える活動に取り組んでいきます。
- ・交通安全運動の強化
 - ・声かけ運動の推進
 - ・通学路の安全確保
 - ・被害にあった子を救う体制づくり

要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進

- 障害児や要保護児童などの支援を進めていくとともに、幼児・児童虐待の防止に努めていきます。
- ・要保護児童への支援
 - ・障害児施策の充実
 - ・問題行動、不登校、ひきこもりなどの子どもを抱える親への支援

問合せ 福祉課 電話 0558 76 8008

行動計画の概要と主な取り組み内容

地域における子育て支援

- 地域住民の協力により、子育て中の親子が安心して暮らせる支援体制の充実を図ります。
- ・育児に悩む親のフォローとストレス解消の場づくり
 - ・子育てボランティアの育成
 - ・柔軟な保育体制の充実
 - ・子どもと高齢者の交流の機会づくり
 - ・気軽に利用できる一時保育体制の充実
 - ・特定保育事業の検討
 - ・子育てサークル・サロンの充実
 - ・児童・生徒の健全育成

子どもの心身のすこやかな成長に向けた教育環境の整備

- 次代を担う親を育てるために、若者へ結婚、出産、育児の楽しみを伝えていきます。また、子育てや地域交流などの親力の向上を図るとともに、子どもたちの学習力の向上に努めていきます。
- ・出産・育児を楽しめる心の教育（次代の親づくり）
 - ・家庭や地域の親力の育成（子育てを楽しくする環境づくり）
 - ・子どもの確かな学力を育むための教育力の向上
 - ・職員研修による子どもたちへの充実感のある授業展開
 - ・子どもが命の重さを理解し、心が育つような道徳教育の推進

職業生活と家庭生活との両立の推進

- 多様な働き方に対応するための子育て支援の強化を図るとともに、親の育児休暇の取りやすい環境づくりに取り組んでいきます。
- ・働き方の見直し
 - ・企業への育児休暇取得の働きかけ



ゆつたり のんびり こころ温か子育て支援

伊豆の国市次世代育成支援行動計画

少 子化の課題解決には、子どもの育成環境の整備を行うことが重要です。「子ども自身がすこやかに育っている社会」「子育てに喜びや楽しみをもち、安心して子どもを産み育てることができる社会」をつくること、積極的に取り組んでいかなければなりません。

伊 豆長岡町、韮山町、大仁町の旧三町では、平成十二年に「すべからずこころ温か子育て支援計画」の実現を目指し「子育て支援計画（エンゼルプラン）」を作成し、子育て支援策を実施・推進してきました。

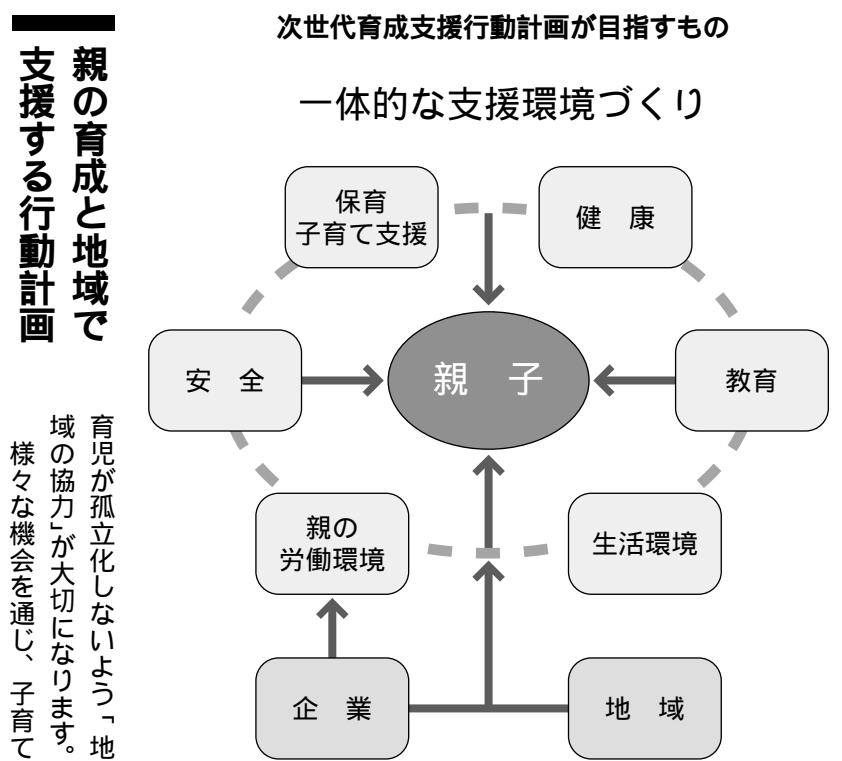
基本目標
二十一世紀の伊豆の国市の未来を担う子どもたちが、温かき自然豊かな環境のもとで輝き育つまちづくりと安心して子どもを産み育てることができる地域をつくっていくため、「ゆつたりのんびり、こころ温か子育て支援」を基本目標と定めました。

子 育ては、まず親が自ら手が届くようにすること、特に乳幼児は、親との直接のふれあいにより育まれます。このことから、「子育てにおける基本的責任は親にあること」を前提として、家庭における子育て支援を基礎としながら、育児と就労の両立や地区の子育て機能の強化など、社会全体で取り組んでいくことが重要となります。

平 成十五年七月に「次世代育成支援対策推進法」が施行され、市町村における行動計画の策定の指針が、国から示されました。これに基づき、伊豆の国市では、平成十七年度から二十一年度までを計画期間とした「次世代育成支援行動計画」を策定しました。

基本方針
「子どもの権利条約」に準ずることを基本として、その主体性を尊重するなかで、基本目標の実現に向けて次の基本方針に基づいて、総合的な施策の展開を図ります。

基本方針
1、子どもの視点に立った環境づくり
2、次代の親づくりという視点での健全育成
3、すべての子どもと家庭への支援
4、地域における子育て支援の強化



親の育成と地域で支援する行動計画
次世代育成には、住民の主体的な参加が必要不可欠になります。子育て支援は、親の育成が基本となりますが、保育サービスの充実など、「公的な援助」だけでは目標達成は難しく、計画を作るのみでなく、親、地域、行政、企業などがともに行動を起こすことが、目標達成の力となります。そのため、地域が持つ相互扶助意識やあいさつなど、小さな活動から具体的に行動していくことが大切です。